

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 2  
2020・4・15

1 クレックナー大臣：コロナウイルスー危機にフランスと対応強化  
ーフランス農業大臣と共に EU 委員会に要請ー (2020・4・9)

ドイツ連邦食料・農業大臣ユリア クレックナー(Julia Klöckner)とフランス農業大臣ディディエ ギョーム(Didier Guillaume)が、コロナウイルス (COVID-19) 危機の食料供給チェーン及び農業ー食料業に及ぼす影響について、電話で会談した。その上、ヨーロッパ委員会に対して市場安定対策を準備すること、並びに GAP (EU-共通農業政策) における政策実行上の柔軟化と簡素化を、可能にするよう要請することとなった。

両大臣は農産物と食糧の供給確保を強調した：あらゆるヨーロッパ市民のために、これまで幾つもの危機的な困難があったこと。そしてヨーロッパ農業の弾力性と生存力の保持が重要であり、消費者への食料供給の保障で一致した。

このため、弾力的な GAP は今後とも安定したヨーロッパのために、絶対必要とした。両大臣は述べた。将来においても、ヨーロッパ域内市場における自由な産物流通と調整可能な国際貿易を保障する。

そして危機克服のために、共通の対応策を必要とする。共通の市場組織は、市場障害に対して早急にそして目的に応じて、反応するために活用可能である。

両大臣はヨーロッパ委員会に対して、現在の困難な状況において市場ー安定のための必要な政策を、早急に実施することを求めた。この危機の中で市場分野における民間の倉庫保管物資の開放を、配慮するよう特に委員会に呼びかけることとした。

両大臣は現在の困難な状況のもとで、農業経営支援のために GAP の活用可能な政策の利用を、簡素化することの必要性を強調した。今必要なことは、政策実施上の行政管理に際して、幅広い柔軟性と明確に簡素化である。特に農業現場における政策実施上の事務管理である。ヨーロッパ委員会に、このため必要な規定を早急に決定することを要請する。

## 2 連邦大臣クレックナーの声明：外国人季節労働者の第一陣が到着

(2020・4・9)

親愛なる皆様

先週末に連邦食料・農業大臣クレックナーが、連邦内務省とともに表明した。4月と5月にそれぞれ40,000人の外国人季節労働者が、ドイツへの入国を許可された。最初の飛行機で今日(4月9日)第一陣がドイツに到着した。次の日フランクフルト・ハーン空港(訳注・アメリカ空軍基地の撤去後、民生用に転換された空港)にも到着する。

今日9日には、ラインラントプファルツ州南部農業・ワイン連盟の会長エーベルハード、同州連邦警察管理部長ヨアヒム・モーリッツとともに、クレックナー大臣が、外国人季節労働者受入れ準備を把握するために、この空港を訪れた。

## 3 連邦内閣：森林伐採を伴わない産物供給チェーンの指針を決定

(2020・4・8)

慎重に推計して毎年約880万haの森林が、破壊されている。特に熱帯雨林において。世界の森林伐採の約80%までが、農地に転換されている。この農地で生産される農産物の大部分は、国際市場に出荷されている。ドイツとEUにも。

**連邦政府の目的：**世界的な森林伐採を効果的に減らす。連邦政府の目的は、世界的な森林伐採をなお効果的に、そして目的に沿って減らすことである。そのため、連邦食料・農業省クレックナー大臣は、今日(4月12日)連邦閣議に、森林伐採を伴わない農業原料供給チェーンのための指針を提案した。同時にドイツはEU委員会への報告に対して、最初の加盟国として前年から世界的な森林保護と、グローバルな森林保護のための積極的な役割を強調している。

既にクレックナー大臣はモスクワ協定との関連で、森林伐採の阻止が重要であることを強調している。このことを、我々の現地での行動と貿易を通じて、奨励することができる。10月のブラジルの同僚大臣との会談後、彼女は述べた。”私はドイツの農業者と国民に気象保護に際して、補完的な参画でなくて積極的に参画するうえで、気象的に安定した森林の再植林のための指針を策定した。”

しかし、産物を輸入すると同時に、アマゾン地域における大規模面積の熱帯雨林が焼き払われている。連邦政府は新しい指針でもって、自らの貿易において多くの行動分野を結びつけ、そして強化したい。

これはドイツの地域の需要に応え、そして EU レベルでの統一した、そして首尾一貫した行動を支えることを含んでいる。つまり、国際的な取り決めと共同活動そして生産国への支援、同時に将来的に森林の無いところを、農用地に耕すこと。

**閣議で決定された指針：**

- ◎ 経済、市民社会そして団体のイニシアチブを奨励する。
- ◎ 消費者のための透明性をつくり、森林伐採無しで生産された産物消費のための推薦を与える。
- ◎ 生産諸国は森林伐採の無い産物供給チェーン強化のために、パートナー国として支援する。
- ◎ 他の重要な消費国との共同活動を実施する。
- ◎ EU 一貿易政策における持続性の観点は、さらに積極的に継続する。
- ◎ EU 内における先進的な手法を促進する。
- ◎ 全般的な科学的基礎を拡大する。

**この指針の実施を支援するために**

連邦食料・農業省（BMEL）は、なお今年度中にマルチステークホルダープロセスをスタートさせる。（Multi-Stakeholder-Prozess MSP 訳注・国、事業者、有識者などの関係者が参画するオープンなプロセスでルール策定など行う方法）

我々は、既に森林伐採の無い産物供給チェーンを促進している。連邦食料・農業省は、経済との共同で重要なイニシアチブを成功させる（一部はドイツ連邦経済協同開発省（BMZ）と共同）。持続的なヤシ油フォーラム、カカオ・蛋白フォーラムのように。そこで我々は政策を審議し、そして決定する。証明済みの森林伐採の無い、そして持続的に生産されるヤシ油、カカオ、大豆の割合を向上させるために。

2015 年以来、さらに 4 つのさらなる EU 一加盟国（オランダ、デンマーク、イタリア、フランス）並びにイギリス、ノルウェーが合意した。特に生産国に対して共同での取組みを調整するために。この協力関係は、EU 一輸入の 75% をカバーしている（イギリスの EU 離脱前）。森林伐採に係る重要な農業原料は、大豆、ヤシ油、コーヒー、カカオといった産物である。

2020・4・12 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
----------------------------------